

一月第7群の6群が現はれてゐる。

その活動の1例を示すと、六月3日北半球東縁より出た群は、數個の暗部を半暗部で包まれたもので有つたが、6日半暗部が消失して核のみの集團性となり、9日子午線通過の時は見事な双頭型と變つた。

此の種の性質を具備する爲には黒點活動が極致に達した時に限られると思ふ。

結語 各群の型式や活動狀況、白斑其他の各事項の關聯事實について述べる必要があるが、將來充分な資料を得てからに廻し度く、今更微力を痛感する。アマチュアの黒點觀測は、もう相對數萬能時代を通過しても良い時期である事は諸氏と意見を同じくする處である。可能な範圍に於ける學術的快樂を滿喫する手段を黒點は勿論、他の觀測にも獲得したいものである。尙、觀測中に“本邦唯一の南方觀測者”と御聲援を賜はつた方々に誌上を借りて御禮申上げる。

「1941年度對衝に於ける火星協同觀測結果報告」の正誤表

頁	行	誤	正
209	28	共同觀測メムバ	協同觀測メムバ
210	13	富山弘一郎	富田弘一郎
210	24	臺北市無成町	臺北市御成町
212	7	村 上	村 山
247	14, 17	ミルチス	シルチス
248	6	線の素晴らしさ	像の素晴らしさ
250	20	蜘蛛の巢狀	蜘蛛の巢狀
278	7, 21	エリツレウム海	エリツレウム海
279	21	第3區 70°~120°	第3區 70°~130°
281	16	第4區 120°~180°	第4區 130°~190°
333	20	黄 砂	黄 沙
334	第6圖	ヘ ラ カ	ヘ ラ ス

會告

會告

會 費 改 正

本誌第255號(第9號第300頁)に會告いたしました通り、去る八月1日より、本會會費が年額4圓から4圓80錢に改められました。

ついては本年分會費として既に4圓を納付された方は、更に30錢を、また本年分會費未納の方は合計4圓30錢を至急に御納付下さい。

本年の途中よりの新入會者は、七月末までの分は月額40錢、八月以降の分は月額45錢として、年末までの會費を御送金下さい。

來る昭和18年からは全て4圓80錢となります。

なほ、會誌「天界」の定價は今まで通り40錢です。

東 亞 天 文 協 會